

ラボ・中国青少年交流《速報第2弾》

私たちにとって身近なアジア文化圏との相互理解を求めて開始されたラボ・中国青少年交流は、今回で29回目の開催となります。

しかし現在、中国北京を中心にした「大気汚染」というあらたな問題により、ラボ・中国青少年交流は、とても大きな課題に直面しています。

◆ラボでは対策として、中国訪問にあたり◆

- ①日本でマスクを購入し参加者に配布する。
 - ②現地政府・日本大使館の情報を注意し、指示に従う。
 - ③学校やホストファミリーにも情報に注意をしてもらい、子どもの健康に配慮して行動してもらうよう協力を要請する。
- 以上のことを徹底し、参加者の健康管理に最大限の注意を払っていく所存です。
※スモッグは冬場に起きやすい現象です。仮に発生してもスモッグ状態がずっと継続しているわけではありません。今年(2013年)3月の訪中時も快晴に恵まれました。



万里の長城



上海タワー前で記念撮影

今年(2013年度)の写真です。「青空」がとても美しい!

日程が変更になりました。 2014年3月27日(木)～4月4日(金)

今年3月、北京月壇中学をラボっ子が訪問した時、一行は大歓迎を受けました。また日本からの訪問が激減した中、歓迎式典には日本大使館からも参加があり、歓迎の辞をいただきました。

最大限の注意を払いながらも、可能な限り交流を継続する。このことが参加者一人ひとりにとってかけがえのない体験を得るとともに、相互信頼と友情の継続につながり、ひいては後輩が中国訪問の機会を得る橋渡しにもなるのです。



北京月壇中学にて



上海外語学院にて

● 募集要綱 ●

- ◆日程:2014年3月21日(金)～3月29日(土)※変更
3月27日(木)～4月4日(金) 決定
- ◆参加対象:小学校5年生以上のラボ会員、ラボ・テューター、保護者、公益財団特別会員
※大人の方はホームステイは行ないません。
- ◆参加費:198,000円
- ◆訪問地:上海・北京
- ◆申込締切:2014年1月31日(金)

※詳細は最寄の総支局まで、お問い合わせください。

そして、2015年には「ラボ・中国青少年交流」は30周年という節目を迎えます。

民際人交流として、「ラボ・中国青少年交流」に参加しましょう！

北京 月壇中学創立 50 周年行事！

今年（2013年）、北京月壇中学は創立50周年を迎えて、9月には北京市内で大規模な「教育シンポジウム」が開催されました。ラボからも公益財団の理事長が出席しました。日本からは複数の大学や高校なども参加しましたが、ラボはその交流の歴史からとても手厚い歓迎を受けました。継続こそが信頼につながるということを実感した瞬間でした。



シンポジウムの様子



張月壇中学校長と平野公益財団理事長

ラボ・中国青少年交流を 「民際人」交流として継続させましょう！

そこに暮らし、待っていてくれる人たちがいます。ぜひ独りでも多くの中国訪問を実現しましょう。

これまでの長い歴史のなかでは、「領土問題」「歴史問題」「列車事故」「新型肺炎 SARS」などさまざまな出来事がありましたが、中国側の受入れ団体である「北京月壇中学」「上海外国語学校」とラボの間で『**交流継続**』がなされてきました。

この28年の交流のなかで生まれた出会いは、学校を卒業して社会人になってからも交流が継続されているなど、日本と中国という“国の違い”を超えて「友情の輪」が今もなお育まれ続けています。まさに“人と人の民際人交流”として、国を超えたホームステイ交流、学校訪問を実施してきました。



上海市内（わいたん）2013年の参加者が撮影

